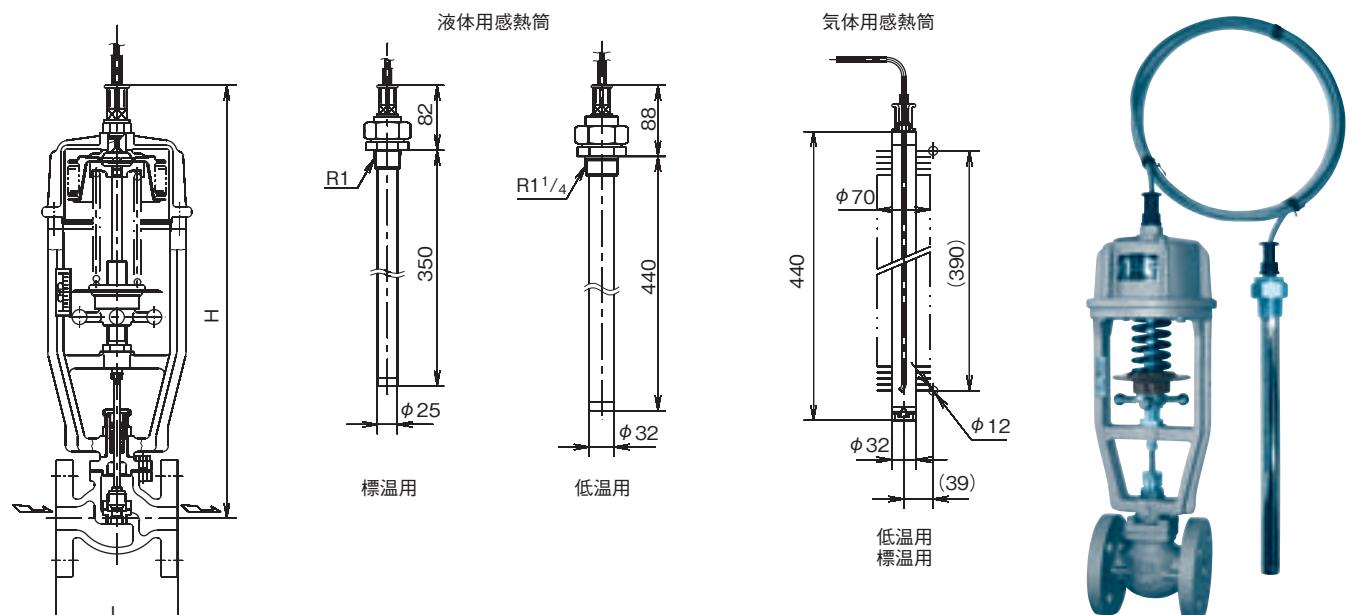


T88S

## T88S型 温度調整弁

Type T88S Temperature Regulating Valves

液体用／気体用



5

## 温度調整弁

## ■主な仕様

用途	加熱用		
設定温度範囲	15~120°C <sup>(1)</sup>		
呼び径	15	20	25
弁形式	単座(正栓)		
弁座漏れ量	定格流量の0.05%以下		
最高使用圧力(MPa)	1.0		
弁箱接続規格	フランジ形 JIS 10K 全面座		
弁通過流体	蒸気(185°C以下)		
感熱筒適用圧力(MPa)	1.0(液体用)、大気圧(気体用)		
感熱筒接続規格	JIS管用テーパねじ		
移動管長さ	標準長さ3m(最大5mまで)		

注<sup>(1)</sup> 設定温度区分詳細は次ページ参照ください。

## ■主要部の材料

部品名称	材料
弁箱	鋳鉄
上部ふた	青銅
弁体	ステンレス鋼
弁座	ステンレス鋼
ペローズ	リン青銅
移動管(CT)	銅管にステンレス保護蛇管付
感熱筒	ステンレス鋼管 <sup>(2)</sup>

注<sup>(2)</sup> 液体用感熱筒の場合は、保護管付も製作できます。

備考 1. 感熱筒接続部がフランジ形のものも製作できます。

2. 気体用で感熱筒が加圧される場合はその旨御指定ください。

## ■寸法・質量及び Cv 値

(mm, kg)

区分	呼び径	15	20	25
L		120	120	130
H		465	465	465
質量		10	11	12
Cv値		2	3	4

## ■弁開閉温度差

区分	液体用	気体用
	標温・低温	標温・低温
CT 3m	5°C以下	8°C以下

# T88S型 温度調整弁

5

## 温度調整弁

### ■標準設定温度区分

種類	区分	設定温度範囲	耐温
低温用	No. 1	15°C以上	30°C以下
	No. 2	20°C以上	40°C以下
	No. 3	35°C以上	55°C以下
標温用	No. 4	40°C以上	60°C以下
	No. 5	50°C以上	70°C以下
	No. 6	60°C以上	80°C以下
	No. 7	70°C以上	90°C以下
	No. 8	80°C以上	100°C以下
	No. 9	90°C以上	110°C以下
	No. 10	100°C以上	120°C以下
			130°C

設定温度区分が低温用の場合の温度調整弁の構造は、前ページの図示と多少異なります。

### ■呼び径の選定(例)

○流体：飽和蒸気

○一次側圧力：0.6MPaG

○流量：160 kg/h

○弁の許容圧力降下：0.1MPa の場合の、弁呼び径の求め方。

①二次側圧力：0.5MPa (0.6 – 0.1MPa) 飽和点から右に線を引く。

②蒸気流量 160 kg/h との交点から、上方に線を引く。

③弁の許容圧力降下 0.1MPa の線との交点を求めます。

→呼び径 20 と 25 の中間になりますので、大きい方を選び、“呼び径 25” が適当な弁ということになります。

